



錦城高校新聞
題字 井口 文章
再刊 第431号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2023

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面..皆さん、錦城祭は楽しみましたか?
充実した錦城生たちの様子をお届け!
二面..4年ぶりの開催となった後夜祭
会場の盛り上げりをフレイバック!!

# 『祭起動』した錦城祭

## 委員長が錦城祭を振り返る



委員長が錦城祭を振り返る
錦城祭実行委員長の田口桜子さん(2C)は、昨年と比べて多くの方が入場して嬉しかったと振り返る。用意した来場者用パンフレットは全て配布できたそうで、読んでいた来場者の方に、パンフレットを通して活気のある錦城をお届けすることができて良かったと語ってくれた。今年実行委員会としても、力を入れたことは、「錦城祭の雰囲気づくりを頑張りました」



5857人の来場者をお出迎えした門

2023年通常開催、無事終了!
9月16日(土)、17日(日)に錦城祭が開催された。昨年までのコロナによる制限がなくなり、4年ぶりの通常開催で大盛況となった今年の錦城祭。今号では、2日間で行われた企画の様子とその企画を楽しんだ実行委員長の声をお届けする。
2B
2年B組は「2Bカラオケ」というカラオケ企画で錦城祭の盛り上げた。店内は暗く、歌を盛り上げた。店内は暗く、歌を盛り上げた。店内は暗く、歌を盛り上げた。

2C
2年C組では「プーさんの Honey Hunt」というクマのプーさんをもとにしたホラー映画を再現したお化け屋敷で集客した。廊下では長蛇の列ができており、実際の映画の予告編が流されていた。教室に入ると薄暗い空間に涼しげな空気が充満しており、説明を受けたのち新聞などで遮られた道をたどっていく。
1H
大きなバナナが校内を歩いている!と思いき、慌てて振り返るとそのバナナは実は宣伝を採用したのは1年H組の「チョコバナナ」その宣伝効果もあってか、パレーボールコートで出店していたはずの

## 錦城祭企画 来場者投票結果

Table with 3 columns: 企画名, クラス, 企画名. Lists winners for Toy Story Mania!, Honey Hunt, etc.



校内を歩いていた大きなバナナ

1A
1年A組は「縁日日和」という縁日の企画をおこなった。1年A組の教室で行われたその企画で、まず最初に目に入る

クラブ・有志も祭を盛り上げる
室内楽部演奏会
旧校舎2階のホールでは、室内楽部による演奏会「Fiesta 祝祭」が開催された。1年生による、ヘンデル作曲のBourreeから始まり、ルパン三世のテーマやofficial髭男dismの「I LOVE...」などの全体合奏で会場を盛り上げた。特に印象的だったのは「LOVE...」で、ポップスながらゆたたりとした曲調は会場全体



迫力のある演奏を披露した

を幽玄の趣ある世界に引き込んだ。厚みのある音と息の揃った演奏に、客席から大きな拍手を送られた。
最後に披露されたのは「Symphonic Lock」である。アプテンポの明るい曲で、リズムのアクセントとなるウッドブロックのカッコカッコーというリズムカルな音は弦楽器の滑らかな音色を引き立たせた。

むらさき草
今年の錦城祭は、2日間で約6000人の一般客が錦城高校を訪れて盛況だった。老若男女に関係なくお客さんを「お兄さん」「お姉さん」と声かけたかき水の店員の姿には笑みがこぼれていたが、どの錦城生もお客さんを一生懸命出迎えて、ちよとした会話が心を和ませてくれた。印象的だったのは、心温まるお客さんの様子を見ることができた1D企画のフォトスポット。教室の店内で訪れていた中学生夫婦が写真撮影でカチューシャを付けるかを聞かれた際、迷わずお揃いのウサギさんカチューシャを手を取った。「かわいいうさぎさんカチューシャを手に取った、微笑みながら生徒に「ありがとう」と言いながらお揃いカチューシャで写真を撮られたご夫婦のなんと素敵だったことか!」もう一つ印象に残ったのは、校内で聞かれた、再会を喜ぶ人たちの声だ。家族や知り合いと校内であって喜ぶ姿もあったが、小中学校時代の旧友と数年ぶりに会う錦城生の姿も多く見かけた。現役生と誰か、という組み合わせだけでなく、卒業した先輩たちとの久しぶりの再会、卒業生同士の再会、職員室近くで恩師との再会といった姿も目にした。これまで、文化祭を単にクラスの中を深めるイベントの一つとしてとらえ、内輪で盛り上がるだけではない、普段は会えない人たちの交流の場、出会いの場を与えてくれる存在でもあるのかもしれない。人だけだけでなく、美術部や写真部の作品、廊下の書道・美術展示、生物部のキモカワ生き物たち、かっこいいダンスや演奏など、この錦城祭が無ければ一生出会えなかった存在がたくさんあった。初めて錦城祭だったが、小さな出会いや発見の中に新時代の一歩を歩む錦城の姿を垣間見た。来年も、より多くの出会いを大切にしていきたいと思う。(普)

## 錦城グルメ～コート編

3年K組が企画した『田中中華耕作中』では、本格的な中華料理を食べることができた。パレーボールコート5番で開店したその店には長蛇の列ができ、並んでもすぐに入らないという盛況ぶり。約1時間ほど待つ編集委員が購入したのは餃子×5個。出来立てあつあつの餃子は、本物の店で食べたのと変わらないほど美味しく、来校していたお客さんも「高校生が作ってるのはびっくりです」と話してくれた。パレーボールコートで見覚えのあるおばさんの絵と、少し似た男性の絵が看板にかけられていたのは3年J組の『ワッフルや』。他クラスに負けず劣らずの長い列を作り出した3年J組では、さまざまな味のワッフルが売られていた。編集委員が購入した時は2日目の14時ということもあり、人気商品だというキャラメルは売り切れていたが、チョコを購入。出来立ての分厚いワッフル記事にこれでもかというほどチョコがかけられたワッフルはとても美味しく、お客さんの中には「私2回目なんです!」という声も聞かれた。(珠)



大きな看板が食欲をそそる

# 魔法の後夜祭となる思い出の一生

## 盛り上がった後夜祭

錦城祭2日目の16時30分から第一体育館にて後夜祭が4年ぶりに行われた。バンドステージやダンスステージなど様々な発表が行われ、体育館内は熱気に包まれた。

### 第一部

4年ぶりの後夜祭はバンドグループ「O.O.2」による『可愛くてごめん』から始まった。曲の中には、観客とともに歌う場面があるなど最初から会場は熱い盛り上がりを見せた。その次の室内楽部の演奏の前には室内楽部長の福渡瑞季さん(2I)が登場。曲内「帯津光歩さん(3I)は『帰る』を演奏。ステージに置かれた一台のピアノと白いワンピースのコントラストが綺麗だった。APPLAUSEは『KICK BACK』などを披露した。披露前には、司会からペンライトを赤にするように呼びかけられ、会場内は赤一色に染まり、熱い雰囲気になった。



全力でパフォーマンスを披露する



演奏で生徒を引き込む

## 4年ぶりの後夜祭にかけた思い

### 実行委員長が語る思い

4年ぶりに開催された後夜祭は大盛り上がりで幕を閉じた。後夜祭が終わった率直な感想を、後夜祭実行委員長を務めた山中愛莉さん(2D)は「私たちが予想していた以上に盛り上がりをもって、感動の気持ちでいっぱいでした」と語る。



委員長も後夜祭に出演!

直前までマイクや進行の確認は行ったものの所々でハプニングが起こってしまったこと、最後に行われたセレモニーが予定通りに進まずバタバタと、より良いものに変えていくという思いを語ります。また、後夜祭が行われる前に錦城生への青年の主張用のアンケートが行われた。プログラムにも青年の主張が行われると掲載されていたが、後夜祭の中で、実際に行われることはなかった。山中さんによると、あまり多くの意見が出なかったために白けてしまったと困るので実施を見送ったそうだが、「楽しみにしてくれた方たちに申し訳ないです。次回以降に乞うご期待!」と錦城生に呼びかける。

### 第二部

後夜祭の後半でも、沢山のパフォーマンスたちが磨かれた技巧で観客を圧倒した。初めに「むてきのえいゆう☆」は『エゴロック』など数曲で息の揃ったダンスを見せてくれた。三人が着るポケモンの衣装のしっぽが揺れる様子に、体育館は「かわいい」という言葉の嵐で包まれた。



だんだんと距離が近づいて…?

中村琴音さん(2B)は、「ルカカ★ナイトフィーバー」のソロダンスで観客を魅了。明るい笑顔とキラのある動きに、大きな歓声が上がった。生徒の熱い合いの手も入り、さながらアイドルのコンサートのような。続いて、馬の被り物をして『カンナムスタイル』のダンスを披露してくれたのは「弓道部バスターズ」の皆さん。ノリのよいダンスに大きな拍手が鳴り、会場が沸き上がった。流鏑馬の退場シーンなど、最後まで生徒を楽しませてくれるパフォーマンスだった。

## 錦城に咲いたFIREWORKS

体育館での生徒によるパフォーマンスが終わった後、多くの生徒がサプライズで行われた花火を見るために校庭へと集まった。校庭に打ちあがった花火は全45発。校庭の規模的に大きな花火を実施することは困難だったため祭りで使用される花火よりかは小さいが見ていると迫力のある花火が使用された。



暗闇を彩る鮮やかな花火

打ち終わった花火は実行委員によって素早く回収され、回収したと同時に新しい花火を打ち上げる準備がされた。花火を打ち上げる場所を囲むように10から15メートル間隔で赤いコーンが設置され、

## 新たな一面に黄色い歓声 生徒会企画錦城コレクション開催

第一部後、中央委員会主催の「錦城コレクション」が行われた。これは先生たちによるファッションショーで、生徒の投票によって選ばれた先生がテーマに沿ったコーディネートで披露した。今年のは「コスプレ」だ。昨年は錦城祭の中で開催されたが、今年後夜祭で実施される事となった。



会場を盛り上げる様子

### 企画の達成度は90%

錦城コレクションを主催した中央委員会委員長の生徒会長の高梨恭一さん(3D)に話を聞いた。今年の錦城コレクションでは、昨年の反省を踏まえ、今年より格段と良くなったと思うことがその理由だ。その一方で「事前の先生方との打ち合わせがうまくいかなかったり、準備がギリギリになってしまったりと裏の準備の面では不十分だったところが多かった。まだまだやりたいところが多くあります」と後悔の念を口にしている。代替わりを控えている中央委員会だが、錦城コレクションをはじめとする今後の中央委員会の企画に代表の設楽先生と門間先生の

## 後夜祭を楽しんだ生徒の声は?

### 「熱量に圧倒されました」

「舞台と客席が一つになって、みんなで楽しめた後夜祭だったと思います。そう後夜祭を振り返る橋本明季さん(1D)は、後夜祭を終えての感想を聞いた。

「熱量に圧倒されました」

「普段見れない先生たちにギャップ萌えです!」

「後夜祭に参加した朱函悦々さん(1H)は初めて経験した後夜祭はとても楽しかったという。

「初めに後夜祭がどんなものかかわからず、好奇心で友達と体育館に向かったという橋本さん。しかし「初めの拍手とか歓声を聞いた瞬間、思いっきり楽しむぞ!」という気持ちで伝わって、今日は勉強を忘れて弾けようと思えました。思い切り歓声をあげた瞬間、手を叩いたりする瞬間はまさに非日常で最高でした」と語った。

また、橋本さんは「演目だけでなく、客席の熱量にも圧倒されました」とも話し「今年が絶対に参加したいです!」と語ってくれた。